

## マニユライフ生命、 テレビ CM『人生の車窓から』8/15(土)よりオンエア開始

～新ブランド・キャンペーン「未来の旅は、あなたが決める」～

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼 CEO: ギャビン・ロビンソン、本社: 東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、「未来の旅は、あなたが決める」キャンペーンの一環として、新テレビ CM「人生の車窓から」を2015年8月15日(土)より放映いたします。年末年始に実施した“未来自販機”を用いた「未来の味は、あなたが決める」キャンペーンに続くブランド・キャンペーンの第2弾となります。

多くの人が退職後の準備を意識し始める年齢は「50歳前後」であるといわれています。セカンドライフ適齢期世代ともいえるアラウンドフィフティーの方々を中心に、先延ばしにしていた自分の未来について考えるきっかけづくりをしたいと、新テレビ CM は制作されました。CM では、50代の男性が、列車の窓の外に繰り広げられる、自分の生きてきた時代を象徴する出来事の数々を見えています。年齢を重ねるごとに列車のスピードは速くなっていき、「このままでいいのか?」と考える男性は、50代になったところで、自分自身が納得する未来、つまりセカンドライフへ向かう旅の行き先を決めるために電車を降り…、というストーリーが描かれます。

2014年12月にマニユライフ生命が発表した新ブランド・スローガン「今日を生きる。明日をひらく。」には、お客さまが自分自身そして家族の未来を、自ら考え、自ら切りひらいていくことをお手伝いしたいという思いが込められています。今後ますます高齢化が進み、働き方やライフスタイルも多様化していく中、単なるリタイア後の「余生」ではない充実した「セカンドライフ」をサポートしていきたいと考えています。マニユライフ生命は、今後も先進的な商品の開発および優れたサービスの提供に取り組んでまいります。

マニユライフ生命のブランドに関する詳細については、ホームページをご覧ください。  
<http://www.manulife.co.jp/mirai-tabii>

### 新 CM『人生の車窓から』



まだ小さかったころ、時間はゆっくりと過ぎていた





窓の外には、その時代を象徴する風景が広がる



年齢とともに時の流れるスピードは速くなる



50代になった時に電車を降りる男性。その行く先は？

## 新 CM 放映スケジュール

### 1. スポット

- 実施日程：8月15日(土)～30日(日)
- 放送地域：関東・関西・中部地域にて実施
- CMバージョン：15秒CM、30秒CM

### 2. テレビ番組内(全国放送)

- 『林修の今でしょ！講座』2時間スペシャル(テレビ朝日系列)  
8月18日(火) 19:00～20:54内 30秒CM
- 『めざましテレビ』(フジテレビ系列)  
8月17日(火)、19日(水)、21日(金)、25日(火)、27日(木)、31日(月)  
5:30～6:10内 30秒CM



## マニユライフについて

マニユライフ生命は、マニユライフのグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションは、世界有数の大手金融サービスグループです。米国においてはジョン・ハンコックのブランドで、その他の地域ではマニユライフとして事業を行い、お客さまの資金や金融面における重大な決断をサポートする先進的なソリューションをご提供しています。マニユライフは個人・団体・機関投資家のお客さま向けに、ファイナンシャル・アドバイスや保険、資産運用・形成のための商品やサービスをご提供しています。2014 年末現在、マニユライフは世界中で 28,000 人の職員と 58,000 人のエージェントおよび数千の販売パートナーを擁し、2 千万のお客さまに商品やサービスをご提供しています。マニユライフの管理運用資産は、2015 年 6 月 30 日現在およそ 8,830 億カナダドル(7,080 億米ドル)です。また、過去 1 年の間にお客さまにお支払いした保険金、給付金および利息は 220 億カナダドル超となりました。

マニユライフは主にカナダ、米国、アジアで 100 年以上にわたって事業を展開しています。カナダのトロントに本拠を置き、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。詳細はウェブサイト([www.manulife.com](http://www.manulife.com) または [www.johnhancock.com](http://www.johnhancock.com)) をご覧ください。

